

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート										平成 28 年度事後評価・決算		所管課		建設課		担当班		土木班	
事務事業名		コード	30110 震災復興・津波避難道路整備事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別										
① 震災復興・津波避難道路整備事業		18	安全で快適な道路の整備	根拠法令	一般	8	2	3											
施策 体系	基本施策	18	安全で快適な道路の整備	道路法															
	施策の展開	33	主要道路の整備	戦略事業	161	震災復興・津波避難道路整備事業													
	施策の展開	56	防災施設の整備	戦略事業	250	震災復興・津波避難道路整備事業													
☒ 主な事業（重点施策）重4 ☒ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業																			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 25 年度～ 平成 32 年度まで		東日本大震災の津波被災地域における避難道路の整備及び被災地域の復興のための重要路線の整備を実施する。 横根・三川線（飯岡地区と津波避難場所である飯岡中学校を結ぶ路線）L＝1.3km（平成25～28年度） 椎名内・西足洗線（椎名内地区と災害拠点病院及び防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線）L＝3.0km（平成26～32年度）	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
災害時の避難道路の確保や被災地域と防災拠点のアクセス向上をはかるため。		用地取得の進捗が課題。	住民からは事業の早期完了が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 道路改良工事	10,400	1-064号線 道路改良工事	千円	0	0	81,000	10,400	360,900
2. 補償金	48,652	物件補償費	千円	0	0	0	48,652	240,000
3. 委託料	38,307	不動産鑑定、物件調査、測量調査、道路詳細設計	千円	4,170	22,558	73,833	38,307	46,687
4. 用地購入費	93,902	道路用地購入	千円	0	0	0	93,902	130,400
5. その他	20	旅費	千円	10	4	16	20	48
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 国庫支出金	42,374	社会資本整備総合交付金	千円	4,180	22,562	154,849	191,281	778,035
2. 都道府県支出金	0		千円		7,150	25,850	42,374	63,250
3. 地方債	0		千円					
4. その他	51,723	東日本大震災復興交付金繰入金	千円	3,232	7,407	99,045	51,723	374,785
			千円	948	8,005	29,954	97,184	340,000
前年度増減理由		用地取得・補償の増						
従事職員数		常時	4人	最大	6人	× 150日 = 延べ 900人		

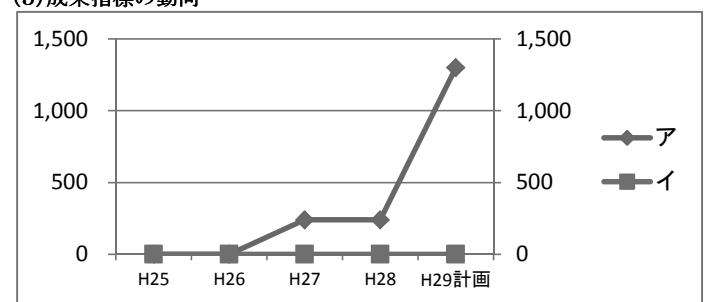
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 用地取得・補償 道路改良工事		用地取得率(横根・三川線)	%	0	0	0	18	100
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか) 対象意図 市民 災害時の避難道路の確保 対象意図	⇒	用地取得率(椎名内・西足洗線)	%	0	0	0	43	62
			整備延長(横根・三川線)	m	—	0	240	240	1,060
			整備延長(椎名内・西足洗線)	m	—	0	0	0	180
			④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			供用済延長(横根・三川線)	m	0	0	240	240	1,300
			供用済延長(椎名内・西足洗線)	m	—	0	0	0	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある ある程度ある ほとんどない		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい	②	①	
普通		②	
小さい		③	
		④⑤	優先度評価対象外
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項
	☐ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難	(コメント) (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 用地買収の交渉が難航している。	(コメント) (低下の場合、その理由) 用地買収の交渉が難航している。
	成果指標 A	成果指標 I	今年度取組事項
	成果指標 A のタイプ	成果指標 I のタイプ	今年度取組事項
	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	今年度取組事項
	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	今年度取組事項
	比較	比較	今年度取組事項
	比較	比較	今年度取組事項
	現状維持	現状維持	今年度取組事項
	現状維持	現状維持	今年度取組事項
	見直し	見直し	今年度取組事項
	見直し	見直し	今年度取組事項
	その他()	その他()	今年度取組事項
	その他()	その他()	今年度取組事項
	引き続き用地交渉を行い、用地取得済箇所から道路改良工事を行う。	引き続き用地交渉を行い、用地取得済箇所から道路改良工事を行う。	今年度取組事項
	引き続き用地交渉を行い、用地取得済箇所から道路改良工事を行う。	引き続き用地交渉を行い、用地取得済箇所から道路改良工事を行う。	今年度取組事項